

テーマ 大掃除のこの季節、加湿器を掃除して健康な冬を!



年末大掃除の由来 寺社の本堂や神殿に溜まった1年のホコリを、僧侶たちが払い落として境内を清めて新年の祭事に備える行事「すす払い」が一般にも広まったといわれています。

加湿し過ぎにご注意

室内が乾燥し、風邪やインフルエンザが流行するこれからの季節、大活躍するのが加湿器。ただ、過度の加湿は禁物です。木造住宅の場合、結露が発生し、カビや、柱や梁を腐らせたりすることにもつながります。また、ファンヒーターや石油ストーブ、水槽がある部屋などは、水蒸気が発生しているので、加湿しすぎないようにしましょう。換気もお忘れなく!



こまめなお手入れで清潔をキープ

ちょっと面倒くさい加湿器のお掃除。でも、きちんとお手入れしないと雑菌やホコリ、カビが溜まって恐ろしいことに…。タンクやふたは、水を変えるたびに軽く洗います。水を交換しないと、タンクの中に細菌が増えてしまう原因となります。トレー、フィルターなども定期的に掃除を行って、清潔な空間を守っていきましょう。クエン酸を使っての掃除も有効です。*お手入れ方法は説明書に従ってください。

加湿器が原因の「加湿器病」にご用心!

加湿器を使っていて、風邪と似た咳・発熱・悪寒・全身倦怠感などの症状が現れたら、「加湿器病」を疑ってみましょう。加湿器病とは、加湿器から出てくる蒸気に含まれる雑菌やカビが原因となる呼吸器疾患です。予防するには加湿器をこまめに清掃し、清潔に保ちましょう。特に小さなお子様や高齢者、ぜんそくなどの呼吸器疾患があるご家族は、注意が必要です。



内装を変えれば空気が変わる♪

住環境が人間やペットの体に影響を及ぼしていることは研究で立証されています。家の内装を無垢の木や自然素材の塗料に仕上げれば、素材そのものの調湿作用により、冬の乾燥時期でも静電気が発生しにくく、のどが渇いたり、カサカサすることはありません。ちなみに昨冬、住まいる玄事務所では一度も加湿器を使っていません。乾燥をほとんど感じず、スタッフは誰ひとり風邪をひかずに過ごせました。

玄場だより

鹿児島市 住宅新築工事



鹿児島中央駅にほど近いF様邸。なんと敷地面積15.6坪の狭小住宅です。2階部分に水まわりなどの生活に必要なスペースを、また小屋裏階を設け、広々収納スペースに。10月中旬に工事が始まり、先日、棟が上がりました。完成は来年2月末頃を予定しています。狭小住宅とは思えない仕上がりをご期待ください! なお、この住宅は低炭素住宅の認定を受けており、国土交通省事業により100万円の補助金を頂いています。

Keyword

低炭素住宅

市街地として積極的に整備する区域(市街化区域)において、二酸化炭素の排出の抑制に効果のある住宅のこと。省エネルギー性に優れているので光熱費低減が期待できるほか、住宅ローンの利用時は所得税控除が、フラット35の利用時は金利優遇を受けることができる。

新築もリフォームも!

補助金もあります!

「住まいと健康を知るセミナー(仮)」開催!

底冷えがひどい、窓の結露をなんとかしたいなど、住まいに関するお悩みはありませんか? どちらも放っておくと健康に悪影響を及ぼしかねません。

住まいる玄では、来年2月に「住まいと健康を知るセミナー(仮)」を開催します。当日は、つみのり内科クリニック院長 山下積徳先生をお招きし、住まいと健康について講演していただく予定です。

またセミナー終了後には体の具合を簡単にチェックできるブースや、お住まいの現状を簡易チェックできるブース、お悩み相談コーナーを設ける予定です。

申込不要・参加費無料ですのでお気軽にお越しください。家づくりやリフォームを何から始めたらよいか分からないという方も、是非ご来場ください!

からだのチェック

- 血圧測定
- 簡単なストレスチェック など

おうちのチェック

- 現在のお住まいの耐震・省エネ簡易チェック
- お悩み相談 など

申込不要・参加費無料

日時 平成29年2月5日(日) pm 1:30~

講師 医師 山下 積徳 様 (つみのり内科クリニック院長)

* 詳細は住まいる玄HPおよび次号リロケーションに掲載します。

今年も1年
ありがとうございました



2016年も残すところあとわずか。住まいる玄は今年も多くのお客様との出会いに恵まれました。特に今年例年に比べ、リフォームのご相談・ご依頼が多い1年でした。慣れ親しんだ家を直して、世代を超えて受け継がれていく様子を、家が本来あるべき姿を見せていただいた気がします。そして当社もそのような家づくりをしていきたいと強く思いました。

来年は、2月の「住まいと健康を知るセミナー(仮)」を皮切りに、住環境と健康との関係についてお伝えする活動を行っていく予定です。

また、4月からスタートした「玄ナビ」。文章を書くことに慣れず、締切に追われながら原稿を準備する日々ですが、お客様からの「見てるよ」という嬉しい声を励みに、これまで以上に充実した内容をお届けできるようがんばります!